

# 道徳科学習指導案

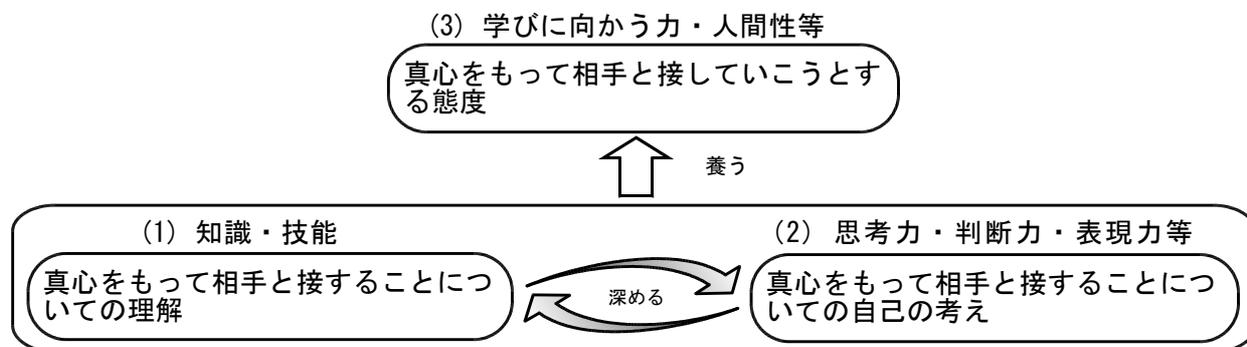
平成28年11月21日（月） 第6校時（4の1教室）4年1組 指導者

I 主 題 生きた礼儀

II 考 察

1 主題観

(1) 育まれる主な資質・能力とその関係



(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

B 主として人の関わりに関すること

9 礼儀〔第3学年及び第4学年〕

礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。

(3) 主題や教材の価値

本主題は「礼儀」の内容項目のうち、真心をもって相手と接することの大切さについて考える学習である。その価値は以下のとおりである。

真心とは、相手のことを親身に思いやる心であり、真心をもって相手と接することは大切である。なぜなら、真心をもって相手と接することで、その気持ちが相手にも伝わり、お互いがよい気持ちで過ごせるからである。そして、それがきっかけとなってお互いの距離が縮まり、人間関係を深めることにつながるからである。一方で、真心があっても、形として表れる行為にばかり囚われてしまい、気持ちが十分伝わらないことがある。真心と行為が一体となっていなければ、相手に気持ちは伝わらない。だからこそ、真心をもって相手と接することについての理解を基に自己の生き方を深め、真心をもって相手と接していかうとする態度を養うことが大切となる。

子どもたちの多くは、挨拶や返事をしたり、食事のきまりを守ったりして学校生活を送ることができている。しかし、相手を大切にしている気持ちはあっても、形式的な行為にのみ目を向けてしまう子どもも見られる。このような子どもたちが、真心をもって相手と接することの大切さについて考えることは、真心をもって相手と接していかうとする態度を養うことにつながる。

そこで教材「生きたれいぎ」（光文書院）を使用する。教材の内容及び価値は以下のとおりである。

「ある国の女王がお客をもてなすために開いたパーティーで、あるお客が、フィンガーボール

の水を飲んでしまう。それを見た女王は、素知らぬ顔で同じようにフィンガーボールの水を飲む。」という話を聞いた筆者は、女王の行為こそ礼儀であると感心する、という内容である。

本来の礼儀とは異なる形式的な行為にのみ目が向きがちな子どもたちは、お客のためにあえてフィンガーボールの水を飲むという行為を選択した女王の姿から、女王の行為の意味を考え、真心をもって相手と接することの大切さに気付くことができる。

#### (4) 今後の学習

ここでの学習は、5年「時と場を考えて」での、状況や立場を考えた言動の大切さについて考える学習に発展していく。

#### 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、4年「心をこめたあいさつ」において、気持ちのよい挨拶をすることの大切さについて考える学習をしてきた。この学習で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、以下のとおりである。

(1) 気持ちのよい挨拶をすることで、お互いがよい気持ちになり、人間関係が深まるということを理解してきている。このような子どもたちが、真心をもって相手と接することで、お互いがよい気持ちになり、人間関係がより深まることを理解できるように、女王の行為が礼儀である理由を問う課題を設定する。

(2) 気持ちのよい挨拶をすることについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えることができている。このような子どもたちが、真心をもって相手と接することについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えられるように、女王、間違えた客、他の客の視点を提示し、女王の行為とそれ以外の行為での、それぞれの気持ちの違いを話し合う場を設定する。また、真心をもって相手と接することについての自己の生き方の意味を見出せるように、女王の行為の意味に照らして礼儀に関わる自己の生き方を振り返る場を設定する。

(3) よりよい生活を送るために、気持ちのよい挨拶をして生活しようとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、真心をもって相手と接していこうとする態度を養えるように、学習したことを基に今までの自分とこれからの自分の生き方について記述する学習プリントを用意する。

### Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

#### Ⅳ 本時の学習

- ねらい 女王の行為が礼儀である理由を女王とお客の立場から話し合うことを通して、真心をもって相手と接することの大切さに気づき、実践しようとする態度を養う。
- 準備 場面絵 学習プリント 電子黒板
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 日常生活の中の礼儀について発表し合い、教材から、課題「なぜ、女王様のしたことは礼儀なのだろう」をつかむ。 ・礼儀には挨拶をきちんとする、返事をしっかりするなどがあるね。	○日常生活の中での自分が考える礼儀を自覚できるように、礼儀と考えている行為を問いかける。 ○教材「生きた礼儀」の、お客がフィンガーボールの水を飲んだ場面での礼儀についての自分の考えをもてるように、教材文を区切って提示し、

- ・間違えたことを教えるのではないかな。
- ・女王様はわざとフィンガーボールの水を飲んだのだな。でも、フィンガーボールを正しく使うことも礼儀ではないのかな。それを守らなくても礼儀になるのかな。

## 2 課題の解決に向けて話し合う。

- ・お客様が嫌な気持ちにならないように、お客様のためにしているから礼儀だと思うよ。もしそのまま手を洗っていたら、お客様に恥ずかしい思いをさせてしまうよ。
- ・確かに間違えを教えるのも、お客様を大切にしている気持ちだから、女王と同じだね。
- ・水を飲んだ場合は、間違えたお客様は気付かずに宴会を楽しむよ。他のお客様は驚くけれど、その後は気にならないと思うな。
- ・なるほど。間違えを教える場合だと、お客様は失敗した気持ちや他のお客様は気まずい気持ちというのは分かるよ。
- ・女王様はみんなが一番気持ちよく過ごせるように考えて水を飲んだから、女王様のしたことは礼儀なのだ。礼儀は当たり前のことを守ればよいわけではないのだな。

## 3 自己の生き方を振り返り、これからしていききたいことを発表し合う。

- ・先生や友だちと元気に挨拶をすることや、食事中は口にもものを入れたまま話さないこと、などがあったね。
- ・先生や地域の人に会ったら挨拶をしていたよ。でも、なんとなく挨拶すればよいという気持ちだったな。今までの挨拶は、女王様と違って礼儀とは言えなかったのかもしれないな。
- ・挨拶をしたり返事をしたりする時には、相手を大切にしている気持ちが大切で、その気持ちがなければ礼儀ではないことが分かったよ。これからは、相手を大切にしている気持ちをもっと心がけて挨拶や返事をして、自分も相手もよい気持ちで過ごせるようにしていきたいな。

その場面で礼儀と考える行為を問いかける。

- お客様がフィンガーボールの水を飲んだ場面での礼儀についての自分と女王の考えのずれを明確にできるように、自分の礼儀と考える行為と女王の行為との相違点を問いかける。
- 課題に対する多様な考えとその根拠を学級全体で共有できるように、それぞれが考えたことを発表するよう促す。
- 女王の行為が相手を大切にしている行為であることに気付けるように、自分の礼儀と考える行為と女王の行為との共通点を問いかける。
- 女王の行為の意味を多面的・多角的に見出せるように、女王、間違えた客、他の客の視点を提示し、女王が水を飲む場合とそれ以外の場合でのそれぞれの気持ちを問いかける。
- 女王の行為は、全ての人を大切に考えた行為であることを捉えられるように、それぞれの場合の気持ちを視点ごとに整理して板書する。
- お互いが気持ちよく生活するために、真心をもって相手と接することが大切であることに気付けるように、学習したことを基に課題の答えをまとめるよう促す。
- 本時のねらいに関わる日常生活の場面を具体的に想起できるように、自分が考える礼儀を再度問いかける。
- 女王の行為の意味に照らして今までの自己の生き方の意味を見出せるように、女王の行為と自己の生き方との共通点や相違点を問いかける。
- よりよい自己の生き方についての思いや願いを明確にできるように、学習プリントに今までの自分とこれからの自分を記述するよう促す。

### 評価項目

真心をもって相手と接することについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えたことを発言したり記述したりしている。

<発言・学習プリント (2)>

- これからの生活への意欲をもてるように、生活の見通しを具体的にもてた子どもを賞賛する。



T 「礼儀」(この言葉聞いたことがありますか?)

T 例えばどんな礼儀があるのかな。

T みんなはどう? そういうのも礼儀なんだ。違う人もいる?

T 今日みんなで読む話は「生きた礼儀」というお話です。「生きた」って何だろうね? 今みんなが言ったのは生きた礼儀かな?

C わからない! 読んでみないとわからないよ。

T なるほど、どんな礼儀なのかな。みんなで読んでみよう。

T (あらすじの確認)

①フィンガーボール(写真)は手を洗うための水

②女王のパーティに呼ばれたお客が間違えて飲んでしまった

③女王は自分もフィンガーボールの水を飲む

T なるほど、女王みたいに水を飲むのが礼儀なのだね。みんなもそう思う?

① C 思う! T じゃあフィンガーボールで手を洗うのは礼儀ではないのだね。

C いや、そうじゃないけど,,,

② C うーん。思わない。

T でも、この話を書いている人はどっちだと言ってた?

T では今日の課題「なぜ、フィンガーボールの水を飲むことは本当の礼儀なのだろう」かな。

T 自分の考えを書きましょう。

C 相手のことを考えているから礼儀なのだと思うよ。(視点?)

C お客が恥ずかしい思いをしないから礼儀なのだよ。(視点?)

C もし手を洗ってしまったら、お客が恥ずかしい思いをしてしまうからだよ。

C きっと礼儀って、相手のためにすることが礼儀なのだと思うよ。

T 「相手のことを大切に思っている」というのが礼儀のキーワードみたいだね。みんながさっき考えたのも、「相手を大切にしている」と言えそうかな。

C 言えるよ。だって相手が気付くようになって、しているからね。

T なるほどじゃあみんなと同じで礼儀なのだね。でも,,,(お話を書いた人はこう言っているのが気になるな) (ICTで提示?)

T なぜみんなのようにしないで、わざわざ水を飲んだのだろうか。

T もう一度、女王の気持ちやお客の気持ち、周りの人の気持ちを整理してみよう。

(みんなの考えと対比して板書する?)

C うれしい

C いやまだ気付いていないから、うれしいとかは思わないよ。

C その時は何も気付かなかったけれど、後で分かって、ありがたいと思っているよ。

T じゃあみんなみたいなことをしたら?(女王の気持ち、お客の気持ち、その他のお客の気持ち)

T 何か違ったかな?(どちらがこのパーティで気持ちよく過ごせそう?)

C わかった。女王が水を飲んだことでは、お客や周りの人が気を遣わずに楽しめるようにしているん

だ！

C他の方法もお客のためにしているけれど、ちょっと気まずい感じになるし

Cつまり、お客に気を遣わせたくなかった。ということ

T どうやら、課題の答えが見つかったかね。だれかまとめてくれる人いる？

C女王は水を飲むことで、周りの人に気を遣わせないように考えたのだよ。そうやって相手のことをとっても大切にしているから、礼儀なのだよ。

T 挨拶や返事、〇〇などの礼儀があるよね。今日の学習をして、今まで自分がしていた挨拶や〇〇は礼儀だった？それとも違っていた？

C今まではよく考えないで挨拶をしなきゃいけないと思ってしていたな。礼儀とは言えなかったのだね。

Tなるほど、じゃあ、逆に実は礼儀だと思っていなかったけれど、実は礼儀だったんだ、というものもあるかもしれないよ。

T学習プリントに今までの自分のこと、今日学習して

指導計画（全1時間）

ねらい	女王の行為が礼儀である理由を女王とお客の立場から話し合うことを通して、真心をもって相手と接することの大切さに気づき、実践しようとする態度を養う。
教材	生きたれいぎ（光文書院）
主題構成	女王の行為が礼儀である理由について、お客が間違えて水を飲んだ場面での自分の礼儀と考える行為と女王の行為とを対比し、それぞれの場合の女王、間違えた客、他の客の気持ちに目を向けて考え、自分も相手も気持ちよく過ごせるように、真心をもって相手と接することが大切であることに気付けるようにする。
本時	<p>○日常生活の中の礼儀について発表し合い、教材から課題「なぜ、女王のしたことは礼儀なのだろう」をつかむ。</p> <p>○自分の礼儀と考える行為と女王の行為とを対比しながら、女王のお客を大切にする気持ちや、間違えた客や他の客の宴会を楽しむ気持ちに目を向けて、真心をもって相手と接することの大切さについて話し合う。</p> <p>○自己の生き方を振り返り、今までの自分とこれからの自分の生き方を学習プリントに記述し、発表し合う。</p>
他の教育活動との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で、教師や友だち、地域の人など、他者と接する場面。</li> </ul>